

InterFM897

The 242nd Programming Deliberation Committee

第 242 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 9 月 15 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）： 「岸本鮎佳& 渋谷譲二「艶っぽい夜」」

放送日時： 2020/9/3（木）23:00 - 24:00

DJs： 岸本鮎佳、渋谷譲二

会社からの説明

人類が誕生し700万年余り。古来より、いまだ未解決の超難題” 分かり合えない男と女”。なぜ？なぜなの！？なんで分かってくれないの！？あの日あの時あの場所で、貴方が私に言い放ったあの一言。君が僕にしたあの仕打ち。・・・ちょっと待って！もっと相手のことを知らしましょう！きっと話せば分かるはず！

この番組は、劇作家・俳優の岸本鮎佳が書いた男女のあるあるシチュエーションドラマを、俳優・AVソムリエの渋谷譲二と共に演じます。それについて、男女の考え方の違いを話し合い、より円滑な男女関係の在り方を考える芝居&トーク番組です。

委員からの意見・感想

審議委員 A

創造力を掻き立てられる導入だった。ラジオドラマを初めて聞いた為、とても新鮮だった。音から想像をかきたてられ、脳みその体操になった。ドラマを振り返るという構成も他にはないオリジナリティを感じた。ドラマの内容に違和感がある部分もあったが、エンタメのひとつとして消化できた。

審議委員 B

すごく面白かった。男女の秘密の会話をこっそり盗み聞きする感覚で、にやにやしながら聞いていた。トークパートでは、男女の DJ2 人が分かり合えない感じも笑えた。コンビとしてはバランスが取れていて良いのではないかな。ドラマの男女の行動に関して、専門家の話があるとより面白くなるのではないかな。また、違う構成作家でのドラマも聞いてみたい。

審議委員 C

ラジオドラマの内容やその後のトークに大きな疑問を感じる。ドラマの主人公が主婦をバカにしているような表現が溢れていて、聞いていて嫌な気持ちになった。作り手・出演者共にデリカシーがない。DJ たちの議論も浅く、発展がない。編集もしばしばおかしなところが見受けられる。ドラマはリスナーなどからの投稿をもとに作っているというが、その投稿についても紹介がない。ラジオドラマの後に、その場面場面を振り返るトークパートを作った枠組みは発明だと感じただけに、内容が非常に残念だった。

審議委員 D

ラジオドラマの振り返りのパートは、出演者の声がたびたび重なって聞きにくかった。もっと編集をしたほうがよい。1 時間番組ではなく、ミニドラマをいくつかのパートに切り分け、音楽の MIX 番組に散りばめて聞かせるほうが面白いのではないか。工夫次第では好転するチャンスがあるように思う。

審議委員 E

メジャーではなく、小劇場的な面白さ。もっと場末感や先鋭的な部分を際立たせたら、よりマニアックな魅せ方ができ良くなるのではないか。音楽の少し適当な扱いも、小劇場で幕間に流れる音楽と捉えると聞き流せた。ただのラジオドラマにとどまらず、今でしかできない何かを取り入れて展開できるといいのではないだろうか。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上